

サカタフーズ日本一プロジェクト!



プロジェクトリーダー 田中美喜子

これからも多くの方に伝えたい・・・

サカタフーズは、昭和58（1983）年の創業以来 保存料・着色料・化学調味料を使用しない体に優しく素材そのものの味を大切に安全・安心・おいしいお惣菜を作っています。

私もサカタフーズのおいしいハンバーグの味に惚れ入社したサカタフーズファンの一人です。

その伝統の味を守り、より多くの方にサカタフーズのおいしいハンバーグの味を伝えたいと思います。今回「お惣菜大賞」へ挑戦したいと思います。

老若男女誰が食べてもおいしいハンバーグを目指し、どこの牛肉とどこの豚肉のかけ合わせるか割合、塩分の調整など、またその日の温度や湿度によっても焼き上がりが変わるため何度も試食をしながら、メンバー全員で考えたハンバーグは抜群です。

地元の食材を取り入れる事で山形県のアピールにも繋げていきたいです。

サカタフーズ「美味しさ日本一」プロジェクト

いつも弊社製品をご愛顧いただきありがとうございます。
株式会社サカタフーズ 代表の中村大輔と申します。



●柱を失い傾きかけた会社を立て直すために「目標」が必要だった、、、

2022年5月、前社長の急逝により当社は急な体制変更を余儀なくされました。得意先様やお取引先様への体制変更のご案内、銀行や金融機関へのご説明、そして残された従業員への説得。その為に、まず私は「サカタフーズ 3つの約束」を作りました。

・サカタフーズ 3つの約束	
一、最高の商品を提供します	= お客様満足度を高めます
一、良い会社を目指します	= 従業員満足度を高めます
一、社会に貢献する会社を目指します	= 持続可能な社会を作ります

その一つ目が「最高の商品」です。「絶対に味は落としてはいけない、、、」それが我々に残された、先代そして先々代から常日頃から言われてきた言葉でした。

わたしたちが認められ、そして求められているのは「美味しさ」、その美味しさを磨き上げ、品質を高めていくことが我々の使命だと心に決めました。

●従業員一丸となるために「日本一」を目指して！

2022年6月より新体制となった直後は不安定な状況でした。長引くコロナ禍でのコミュニケーション不足、戦争や海外事情による物価高騰、先行きの見えない状況に皆不安を抱えた状態でした。

そこで打ち出したのが「ハンバーグで美味しさ日本一を目指す」ことでした。

「最高の商品を提供します」とは掲げたものの、具体的な目標が無く、どこに向かえばいいのか分からない中、いろいろなイベントやコンテストで「金賞受賞」「最高賞獲得」などと目にする機会が増え、「賞を目指せば会社は一丸となるかもしれない」「どうせ目指すなら大きい方がいい」と考え、社内で「当社は美味しさで日本一を目指そう！」と訴え、そして得意先様にも「美味しさ日本一を目指そうと思います！」と話し始めたところ「それいいですね！」「サカタフーズさんなら出来るんじゃないですか！？」と社内外からも多くの共感と励ましの声を頂いております。

具体的な目標を立てて全員で共有することにより、会社として進むべき方向が見えてきて、ベクトルを合わせ、全従業員がチーム一丸となって力を合わせて前に進むことが出来るようになったのです。

●目指せ「日本一！」 その先の「世界へ！」

現在当社は様々なコンテストへ向けて挑戦しており、

- ・「山形のうまいものファインフードコンテスト」(2023年9月結果発表)
- ・「DLG ドイツ食品コンテスト」(2023年11月結果発表)

そして

- ・「お弁当お惣菜大賞2024」(2024年1月結果発表) に向けて日々奮闘しております。

そのために社内で「日本一プロジェクトチーム」を立ち上げて商品開発や出品準備を行っております。今回のご提案商品は、チームメンバーが一生懸命もがきながら試行錯誤を重ねて作り上げた商品です。みなさん是非、一度召し上がっていただき、応援して頂ければ幸いです！



令和5年8月

山形県酒田市砂越字上川原507
株式会社サカタフーズ
代表取締役 中村大輔

